

小規模企業景気動向調査

[2021年3月期調査]

～2か月連続で全業種が改善も、先行き不透明な小規模企業景況～

2021年4月28日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2021年3月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…2か月連続で全業種が改善も、先行き不透明な小規模企業景況…◇

3月期の小規模企業の景況DIは、全業種で2か月連続の改善となり、昨年2月期の水準を上回った。3月21日の首都圏をもって、すべての都道府県で緊急事態宣言が解除されたこともあり、徐々にではあるが各業種で需要が戻りつつあること、新しい生活様式に対応したサービスの提供により好調な事業者もいることもあり、全業種での回復につながった。しかし、大都市圏以外においても感染が急拡大し、第4波を懸念する声が多い一方、4月以降高齢者のワクチン接種が始まることを期待する声もあり、期待と不安が交錯するコメントが目立った。

<製造業> ◇…回復基調が加速も、懸念材料が残る製造業…◇

製造業は、全DIが2か月連続で改善し、売上額・業況DIは10ptを超える改善となった。食料品関連は、引き続き、内食向けで、巣ごもりで需要が堅調であり、1月の緊急事態宣言前の水準を回復したが、原材料の原価高騰や販売先の飲食店の需要減退など不安要素も多い。機械・金属関連は、自動車関連全般や金属加工の一部の受注増により好調で大幅に改善したが、一方でコロナ禍において国内外の需要停滞や生産調整事態は続いており、今後懸念が残る。繊維関連は、緊急事態宣言が解除されたこともあり、夏物などの需要が戻りつつあることから大幅に回復したが、生産調整や販促のためのイベントの中止等により厳しい状況が続いている。

<建設業> ◇…全般的な回復基調の中、小幅な改善にとどまった建設業…◇

建設業は、業況DIが小幅に改善し、コロナ禍が本格化する前の昨年2月の水準に回復したが、資金繰りDIはわずかに悪化した。他の3業種が大幅に改善する中、小幅にとどまった。一部地域では、除雪や災害復旧工事の需要で好調を維持している。また、民需でも、修繕工事やリフォーム工事が好調である。しかし、公共工事が徐々に減少していることや、人手不足や資材不足等で工期の遅れが発生し、資金繰りに影響が出ており、先行き不安との声が多く見られた。

<小売業> ◇…2か月連続で大幅な改善も、力強さに欠ける小売業…◇

小売業は、全DIが2か月連続で改善し、昨年1月期に迫る水準となった。食料品関連は、内食向けは、巣ごもり需要が堅調であった。また、年度末で売上が伸びたとの声もあった。衣料品関連は、卒業・入学・入社シーズンが続くことから好調に推移しており、大幅な回復となったものの、外出を控えるなどで購買意欲が落ちているとの声が多く、今後も予断を許さない。耐久消費材関連は、ウイルス対策関連商品に加え、新生活に向けた需要の増加により、回復傾向が加速した。

<サービス業> ◇…2か月連続の大幅な改善も、本格的な回復には程遠いサービス業…◇

サービス業は、全DIが2か月連続で大幅に改善した。理美容業は、卒業式シーズンを迎え、今まで来店を控えていた顧客の利用があるなど回復傾向にある。宿泊業は、一部地域ではビジネス関連の利用や、緊急事態宣言解除の効果もあり、若干回復したが、依然として低い稼働率が続いている。飲食業は、来店者数の少ない状況が続いており、洗濯業も、昨年よりも客足が戻ってきて大幅に改善しているものの、厳しい状況が続いているとの声が多かった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比
売上額	▲ 46.0	▲ 35.0	11.0	▲ 53.5	▲ 40.3	13.2	▲ 21.9	▲ 18.5	3.4
採算	▲ 45.3	▲ 37.8	7.5	▲ 51.6	▲ 43.8	7.8	▲ 25.4	▲ 24.0	1.4
資金繰り	▲ 42.4	▲ 37.2	5.2	▲ 47.2	▲ 39.6	7.6	▲ 23.0	▲ 23.7	▲ 0.7
業況	▲ 48.3	▲ 39.4	8.9	▲ 57.3	▲ 43.8	13.5	▲ 26.7	▲ 23.0	3.7

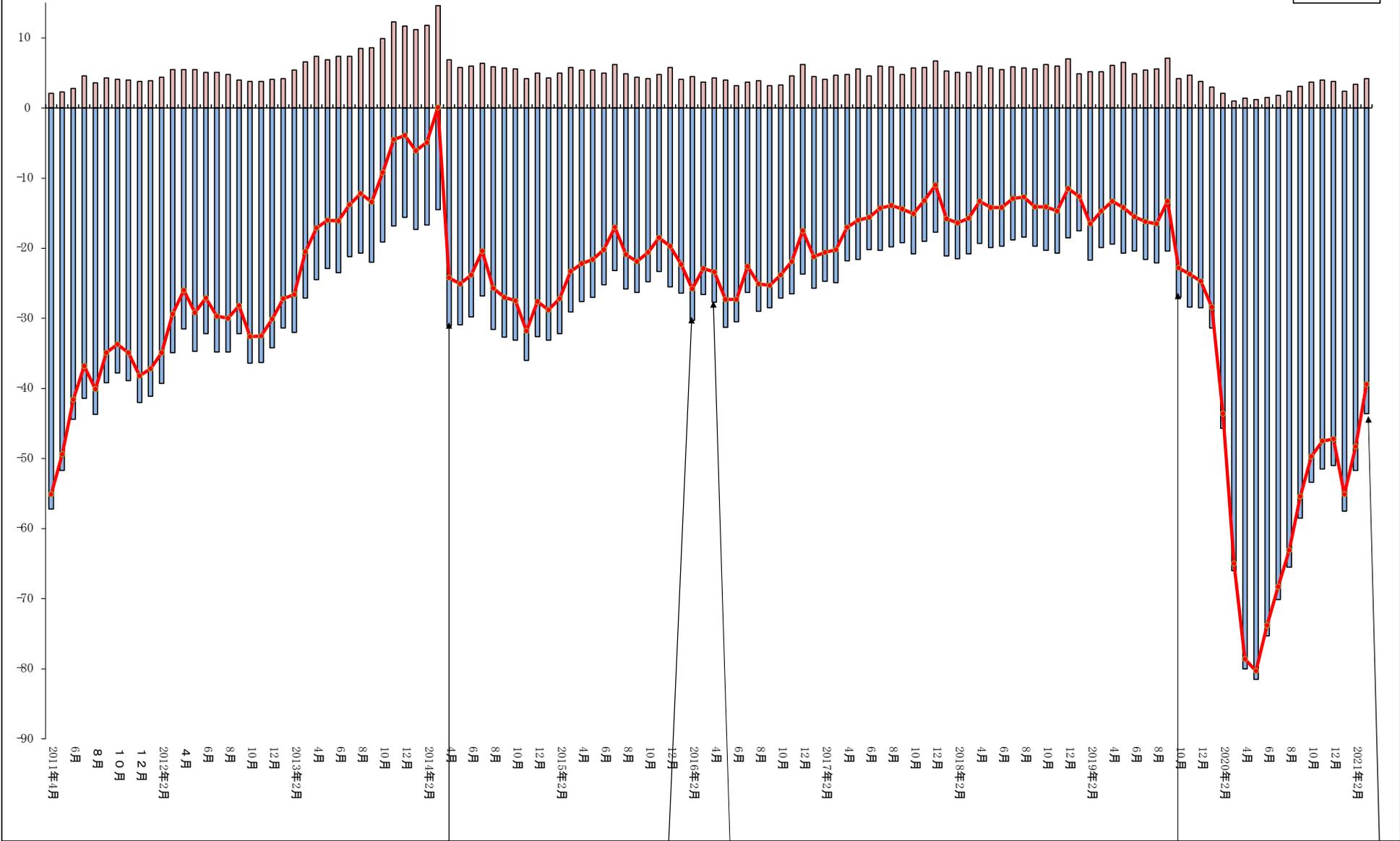
業種	小売業			サービス業		
	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比
売上額	▲ 40.6	▲ 32.1	8.5	▲ 68.2	▲ 49.1	19.1
採算	▲ 42.0	▲ 34.3	7.7	▲ 62.1	▲ 49.0	13.1
資金繰り	▲ 41.0	▲ 35.9	5.1	▲ 58.5	▲ 49.5	9.0
業況	▲ 44.0	▲ 38.1	5.9	▲ 65.2	▲ 52.5	12.7

注) DI (景気動向指数) は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化
■ 好転
— DI



14年4月
消費税率8%
引上げ

16年2月16日
日銀マイナス
金利導入

16年4月
熊本地震

19年10月
消費税率
10%引上げ

21年3月
(-39.4)

小規模企業景気動向調査(3月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・先月に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、回復・持ち直しの傾向が全業種で見受けられた。来月開始になる市飲食券・商品券や助成制度に期待している声も多く、ポジティブな回答が増えたように感じている。ただし、当県においても感染者数が増加していることで第4波を警戒している事業者もあり、先行きを不安視している。

(由利本荘市商工会)

・緊急事態宣言が解除されたことにより、飲食店で食事するお客様が増加してきている。よって飲食店に直接取引がある事業者も取引が少しずつ開始されてきている。

(八千代町商工会)

・感染症拡大直後は大幅に落ち込んだ景況も、ワクチンの接種開始や危機意識の低下、自粛要請からの反動からか、交流人口が増えており、全体的に売上が横ばいもしくは増加している。金融面については、昨年のコロナ関連特別融資制度などを利用した元金据え置からの返済開始期日が迫っていることから、借り換え相談なども若干増えており、これについては、金融機関も柔軟に対応している印象である。

(あまみ商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・コロナ禍において、感染症対策を徹底しながら事業所がそれぞれ工夫し懸命に経営の立て直しや継続、地域の活気を戻す努力をしている。しかし収束の不安、この先も事業継続ができるかの不安、前向きな回答はなかなか聞こえてこない。

(内郷商工会)

・全体的には、大きな変化は見られない状況である。業種によっては、好調な推移を保っているところもある。新生活様式というスタイルに舵を切られ、日常は大きな変化が生じた。そのような中、工夫と発想力で試行錯誤し売上を伸ばしている事業所もある。しかし今後について、未だ不透明な状況から全体的に事業所の不安は拭えないのが現状である。

(檜葉町商工会)

・ワクチン接種開始による通常の経済活動へシフトの動きが徐々にあり、期待感ももてるが、現状第4波の懸念もあり、戻るのは店舗の感触としては、まだ先の意見が多数。町内小売店はテレワーク拡大による巣ごもり消費の増加を見込んでいる。東京五輪、GOTO事業の開催等、経済回復が期待されているが、まん延防止法による活動制限のリスクもありとにかく不安を抱える営業活動となっている。

(大磯町商工会)

・飲食店等まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響もあり、厳しい業界もあるが、一部持ち直しの動きも出てきている。しかし建設業など景気の落ち込みが遅れて出てくる業界も考えられ、予断を許さない状況と思われる。

(大口町商工会)

・新型コロナウイルス影響が長期化しており、また先の見えない状況が続いているため、体力的に疲弊している事業者が増えている。今後さらに寄り添った支援を心がけていきたい。

(岩美町商工会)

・新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんどの業種が苦戦している中、食品製造関係はテレワーク等自宅で過ごす時間が増えたため売り上げが伸びている事業者が多い。

(呉広域商工会)

・新型コロナウイルス感染症の影響によって依然として売上が減少する等の状況が続いている。しかしながら、そういった環境に適応したサービス等を提供する企業が次第に首都圏などから進出してきている状況があるため、事業者自身が補助金頼みの経営から脱却し環境に柔軟に対応した経営を行うように段階的に転換を行っていく必要があると感じる。また、その転換期にあつて、商工会として最大限の支援を行う必要があるとも考える。

(西そのぎ商工会 長与支所)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・金属機械系は安定している。ものづくり補助金で自動検査機器を導入した企業では、検品作業に従事していたスタッフを別部門に配置する等、より積極経営を継続している。

(浅羽町商工会)

・コロナ感染拡大予防のため、まだ制限をかけているが、メディアを活用し、通信販売を中心に売上を伸ばしている。

(志摩市商工会)

・食料品製造業については、全年同月に比べると新型コロナウイルス感染症による外出自粛のため家での食事が増えているため、出荷量が増えている。

(呉広域商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・自動車関連の製造業では、コロナの影響があった時よりは受注は増えているという意見が多い。従業員を増やしたいという意見も聞かれた。しかし、今後受注がストップする可能性は少なからずあり、その際に従業員の賃金が重くのしかかってくることになるので、積極的な採用ができずにいるという話があった。

(群馬伊勢崎商工会)

・食品製造業者は原材料の高騰とコロナウイルス感染拡大のための活動自粛により、売上が減少したため、前月より業況は悪化している。

(高山南商工会)

・食品製造業では首都圏緊急事態宣言による観光客減少により受注額が落ち込んでいる。原材料も値上がりが見られている。

(南伊豆町商工会)

・製造業では、生産用機械、汎用機械、電気機械、鉄鋼業、金属製品加工業などは、前年対比で下回っているところが多く、受注の回復基調が見られない。また、一部ではあるが、電子部品の製造では、ゆるやかな回復基調を見せているところもあった。総じては、生産活動は鈍いまま推移しており、依然として厳しい経営を強いられている。

(川西市商工会)

・製造業全体は厳しい状況にあるものの多少改善してきた模様。食料品製造業は大きな変動はないが、繊維工業はコロナ禍における新たな需要拡大により堅調を維持している。機械金属製造業は輸出関連の動きが弱く見通しが見えない状況である。

(作州津山商工会)

・機械部品等製造業は、中国からの資材輸入も通常にもどつつあり、親会社の業績ももとに戻つつあることから、コロナ禍前の業績に追いつく様子。今後はまだ見えないため長期の事業計画は策定しづらいが、ただちに廃業に追い込まれる状況に無い。

(佐土原町商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・修繕や小規模工事も好調だが、総合建築も公共工事などで比較的好調である

(日野市商工会)

・冬の雪害の復旧工事の増加など、工事量は多いが人手不足が大きい。

(富山市南商工会 婦中支部センター)

・住宅着工数が戻ってきている。

(中津川北商工会)

・業種により大小はあるが全般的に受注は安定している。リフォーム需要もある。建売住宅の新築工事もある。

(浅羽町商工会)

・公共工事建築土木業は年度末に向けて完成引き渡しや、受注が増加している。人材不足により人件費はコストダウンしているため利益は上場に出ている。

(佐土原町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・住宅メーカーの下請けが好調。人員不足により現場を回すことが出来ず、チャンスロスが発生している状況。また、隣県での業務が多いため、コロナウイルスの感染が心配される。

(尾花沢市商工会)

・売上は同年程度で推移しているが人材、資材不足による採算悪化や工期の遅れの声を耳にする。

(山梨市商工会)

・元々、公共工事等が少ない状況にあり、厳しい業況が続いている。土木関連工事の受注はコロナ禍前の状況に回復した感があるが、建築関連は受注確保に苦慮しており、資金繰りに苦しんでいる。

(みえ熊野古道商工会)

・建設業は、公共工事の減少や人手不足、資材不足等で工期の遅れ等の影響を受けている。

(瀬田商工会)

・土木工事に関しては引合いも多く好調。建設工事に関しては公共工事は例年並みだが民間工事が減少しており悪化。後者のみを請け負っている企業は先行きが暗い。

(日田地区商工会 大山支所)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・衣料品小売…域内同業者の廃業による顧客引継ぎのため売上はやや増加。仕入も昨年ではなく、一昨年を参考に仕入をするようにしている。来月発行の市商品券に期待。食料品小売…外出自粛の影響で近隣住民の利用者は増えているが、町内会等各種団体の宴会需要の減少で酒類の受注が停滞。商品によっては仕入困難、仕入単価上昇等の影響があった。来客数は少ないので、こちらから訪問している。耐久消費財…タイヤ交換や修理整備が多く多忙な時期で変化はない。新生活に向けた家電買替等は前年より微減で何とか売上を維持確保している。市商品券にも加盟し、需要喚起に努めたいと考えている。

(由利本荘市商工会)

・家電の売れ行きはコロナ禍でむしろ好調である。コロナで家にいる機会が多くなり、家電を性能のいいもの買い替えたいと考えるお客様が増えてきた。コロナ対策として注目されている空気清浄機は品薄な状態が続いている。

(群馬伊勢崎商工会)

・小売業全般としては、年度末であるため、セレモニーや引っ越し等、または季節の変わり目であるため、売上はやや増加であった。

(高山南商工会)

・生活雑貨等の小売業は季節の変わり目もあり、売上は増加している。

(佐土原町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・衣料品関連の事業者は、昨年は新型コロナの影響により、卒業式や入学式などの行事が全て中止となったが、今年度は規模を縮小して開催されたことにより、来店客が若干増えた印象がある。しかし、新型コロナ前に戻ることはなく、厳しいことには変わりはない。食料品関連の事業者は、新型コロナによる飲食店の状況が厳しいため、業務用途米の流通が依然として改善していない。農業資材については、概ね価格上昇している。耐久消費財関連の事業者は、決算をしたが毎年50万円ずつ売上が減少しており、直近は前年比11%の減少となっている。新型コロナでさらに売上も下がっており、打開策が見いだせていない。

(かづの商工会)

・衣料品は新入生の制服等、前月よりは良かったものの、次月以降は不安。食料品は大きな変化なし。

(尾花沢市商工会)

・衣料品関連はコロナによる外出自粛、少子高齢化の両方の影響で制服、スーツ関係が年々減少している。食料品関連は外食敬遠状態が続いているため店売りは例年並みかやや増加。ただし一部野菜は価格が上昇しているため、採算が良化していない。

(伊豆の国市商工会)

・衣料品店では、近年大手企業の店舗やネットショップに需要が流れているため、売上げが減少傾向である。しかし、コロナウイルス感染症の影響による消費者マインドが変わり、地元のお店で衣料品を買う傾向も見受けられ、大きく売上が変わらなかった。総合スーパー等の食料品店は、巣ごもり需要がまだまだ続くため、売上は去年同月と同じ水準を保っている。しかし、洋菓子や醤油店などの専門店では、買い物機会減少により売上減少が見られる。車の整備工場では、車検やタイヤ交換等の定期的なメンテナンスにより同じ水準を維持している。TV等の電化製品は、春先の新生活に向けて等の需要が少しずつ動き始めて回復傾向にある。

(東近江市商工会)

・衣料品関連の小売業は、宣言解除後、コロナが拡大傾向にあり、今後も社会不安により購買意欲が抑制されることで需要の変化はなし、または減少する可能性があり、先行き不安。食料品関連の小売業は、昨年同月は学校の臨時休校によって買いため需要が多かったが、比較すると客単価が減少して客数が上昇したため全体として変化はない。耐久消費財関連の小売業は、消費環境の正常化への期待は高いが、回復感や盛り上がり欠ける状況が継続している。

(中部商工会産業支援センター)

・小売業に関しては取り扱い品目による差異が大きい。日用品を取り扱う業者は比較的にコロナの影響は少なく業績を伸ばしている。

(玖珠町商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・緊急事態宣言が延長され、引き続きテレワーク等も継続されている中で、これまで遠くの美容院を利用しての方が近隣の店舗に足を運ぶことが多くなっている

(日野市商工会)

・理美容業は、コロナの宣言解除の為、売上は堅調である。

(大磯町商工会)

・旅館の入込も増え町中の人出も増加している。

(新温泉町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・ホテル等ではコロナ感染状況の悪化もあり、観光客の減少は相変わらずの状況だが、ビジネス関連の利用は大きな落ち込みという程度には至っておらず、新年度より開始される支援策を活用できる環境が整えば、大きな動きにはならないと感じているとの事だった。

(栗原南部商工会)

・理美容は卒業式関係で増加した。

(大東商工会)

・理美容業については、卒業式などは実施され成人式自粛時ほどの落ち込みはなかったが、コロナウイルスの収束が不透明の為、不安感が残る。

(稲敷市商工会)

・飲食店においては、昨年に引き続き送別会、歓迎会は自粛するケースが多く、宴会が大きな収入源のお店にとっては依然厳しい状況が続いている。

(栄町商工会)

・旅館業関連のサービス業は、緊急事態宣言の影響で、休業をしている大手旅館もある。一方、建設業者の受け入れで需要が安定しているホテルもあるが、全体的にはまだ従来の状態には戻っていない。理容業関連のサービス業は、人口減、高齢化により客数減少。洗濯業関連のサービス業は、人口減、高齢化により客数減少。

(串本町商工会)

・理美容業は、3月期は結婚式・卒業式・イベントの開催等により売上高も上がってきており、1月2月に来れなかったお客様が3月に集中し来店されたことも売上高の増加の要因である。

(柳川市商工会)